

履歴書

2012 年 7 月 19 日現在



ふりがな		あながま みわ	
氏 名			
穴竈 美和			
出身地	年齢	※	
岡山県岡山市	(満 33 歳)	女	
参加した NICE ボランティア	分野		
国際ワークキャンプ、週末ワークキャンプ	環境、子ども		
場所 (国・市町村まで記入)	日本・京都府宮津市、愛媛県松山市、岡山市、高知市、メキシコ・Michoacan 州		満足度
受け入れ団体	NICE (日本国際ワークキャンプセンター) メキシコ VIVE		100%
			活動のやりがい度
			80%

こんなボランティアでした
日本でのワークキャンプは、竹林の整備など環境に関することが多かったです。岡山の週末ワークキャンプは自分が企画をして、児童養護施設のお祭りの手伝いをしました。メキシコでは植林したり、高校生に文化紹介をしました。

年齢	経歴
20	大学を 1 年間休学・アメリカへ語学留学など
21	エストニアの国際ワークキャンプに参加
22	タイの国際ワークキャンプに参加
23	地元岡山で就職。プライダル情報誌の営業を担当
25	京都のワークキャンプに参加
25	NICE・グループワークキャンプ事業部の職員に
29	愛知県・ゴジカラ村に就職
32	退職。京都府・和束町に移住
趣味・特技	読書
座右の銘	女は愛嬌
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
大学を 1 年間休学してアメリカに行きました。その際 YMCA で子どもと遊ぶボランティアをしました。	
家の宗教の関係で、小さいころから奉仕活動をする機会がありました。	

記入上の注意 1:鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2:数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

志望動機
休学を終えた大学3年生の春。偶然ワークキャンプのチラシを見たのがきっかけでした。(NICE のではなく別団体でしたが) 海外に安く滞在できて、人の役に立つ、しかも外国人の友達もできるなんて、こんないいことあるのかー！と衝撃を受け、すぐに申し込みました。

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）
特に心配はありませんでした。言いたいことが言える程度の英語が話せたからです。しかし、エストニアの空港に着いた瞬間英語が全く通じず、その瞬間に「大変なところに来てしまった」と気づきました。そこからは身振り手振りで伝えたり、英語が話せる人を道端で探したりして何とかしました。

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した！）
全て決めてから両親に報告しました。驚いていましたが反対はされませんでした。海外からは必ず絵葉書を送りました。嬉しいし安心するようです。

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）
国際ワークキャンプに参加したのがきっかけで、NICE の職員になったのですから、ワークキャンプが人生に大きく影響しているといえます。その次の就職先も、ワークキャンプの受け入れ先でした。実際に、貴重な経験をさせてもらいましたし、何より多くの仲間を得ました。うまくいかないことがあった時でも、自分と同じ方向を目指して頑張っている仲間が世界中にいると思うと勇気がでます。
年に1度くらいしか会わなくても、すぐに心を通わせることができ、心から笑顔になれる仲間がいます。
それから、自分にとって幸せとは何か、人が幸せに生きるために何が大切か、といった『人生観』の様なものが見えてきたような気がします。

成長ダイアグラム ※	これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪
	<p>どんなお金持ちでも、貧乏でも、どの国の人にも、共通することがあります。それは「人は必ず老いて、そして死んでいく」ということです。今しかできないことがあり、この瞬間を、幸せに、悔いのないように生きましょう。将来設計も大事ですが、それよりも「今」の自分がピンとくること、ココロがわくわくすることに正直に。そうすれば、おのずと道は拓けてきます。</p>

※成長ダイアグラム（5＝とても得るものがあつた・良くなった。4＝まあまあ得るものがあつた・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）